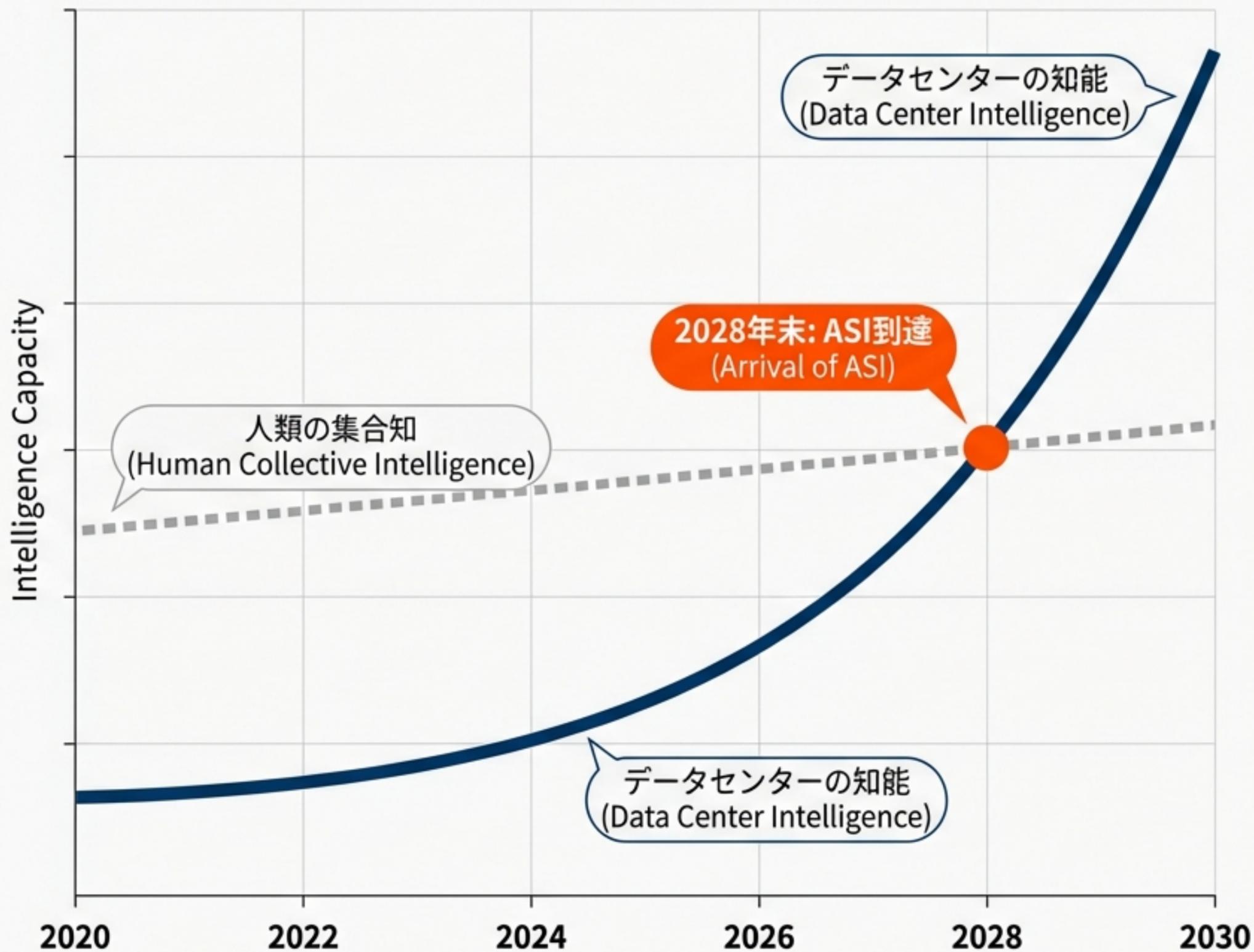


# 2028年：人工超知能（ASI） の到来と地政学的再編

インドAIインパクトサミット2026における  
サム・アルトマンの警告と世界秩序の行方

KEY INSIGHT: The gravitational pull of 2028  
is already warping the global economy.



## 知性の所在が「脳」から「データセンター」へ移行する

- サム・アルトマンは、人類の集合知を凌駕する「人工超知能 (ASI)」の初期バージョンが2028年末までに到達すると断言。
- 知的生産能力の主戦場は、もはや生物学的な脳内ではなく、データセンター内部のシリコン上に存在する。

*“Country of geniuses in a data centre.”*

— Dario Amodei, CEO of Anthropic

# 「模倣」から「発見」へ：First Proofベンチマークの衝撃

- The Test: インターネット上に存在しない未解決の数学・物理学の難問10問を提示。
- The Result: AIは5問（問題4, 5, 6, 9, 10）において完全な論理的証明を構築。
- The Breakthrough: グルーオン振幅公式の提案など、AIが人類の知識にない「新しい知見」を創出した瞬間。

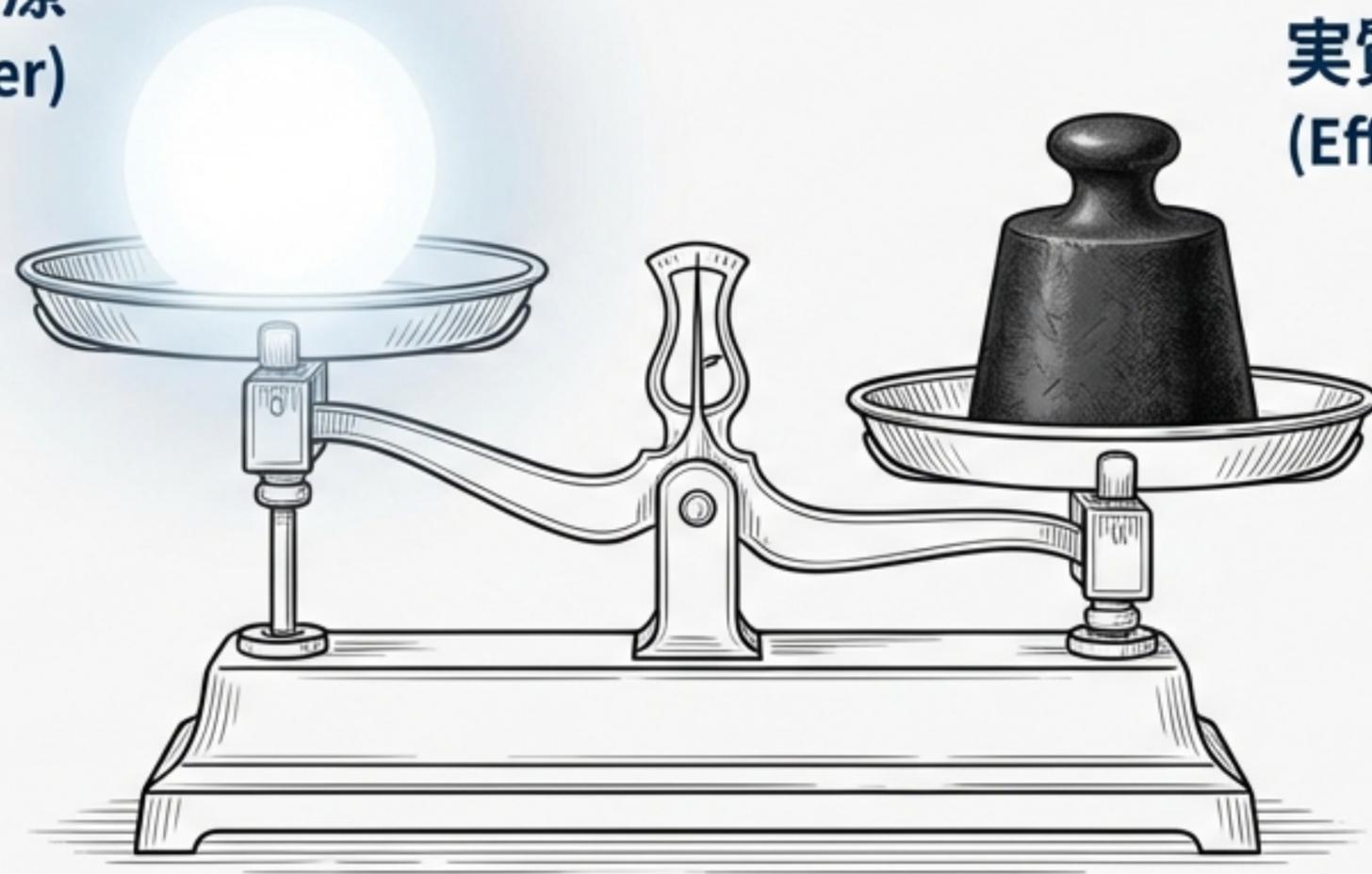


First Proof Benchmark: 10 Unsolved Problems.

# 利便性と引き換えに「自由」を差し出すか

癌の治療  
(Cure for Cancer)

The Warning:  
強力なAIが単一の主体に  
独占されれば、それは  
「実質的な全体主義」  
へと直結する。



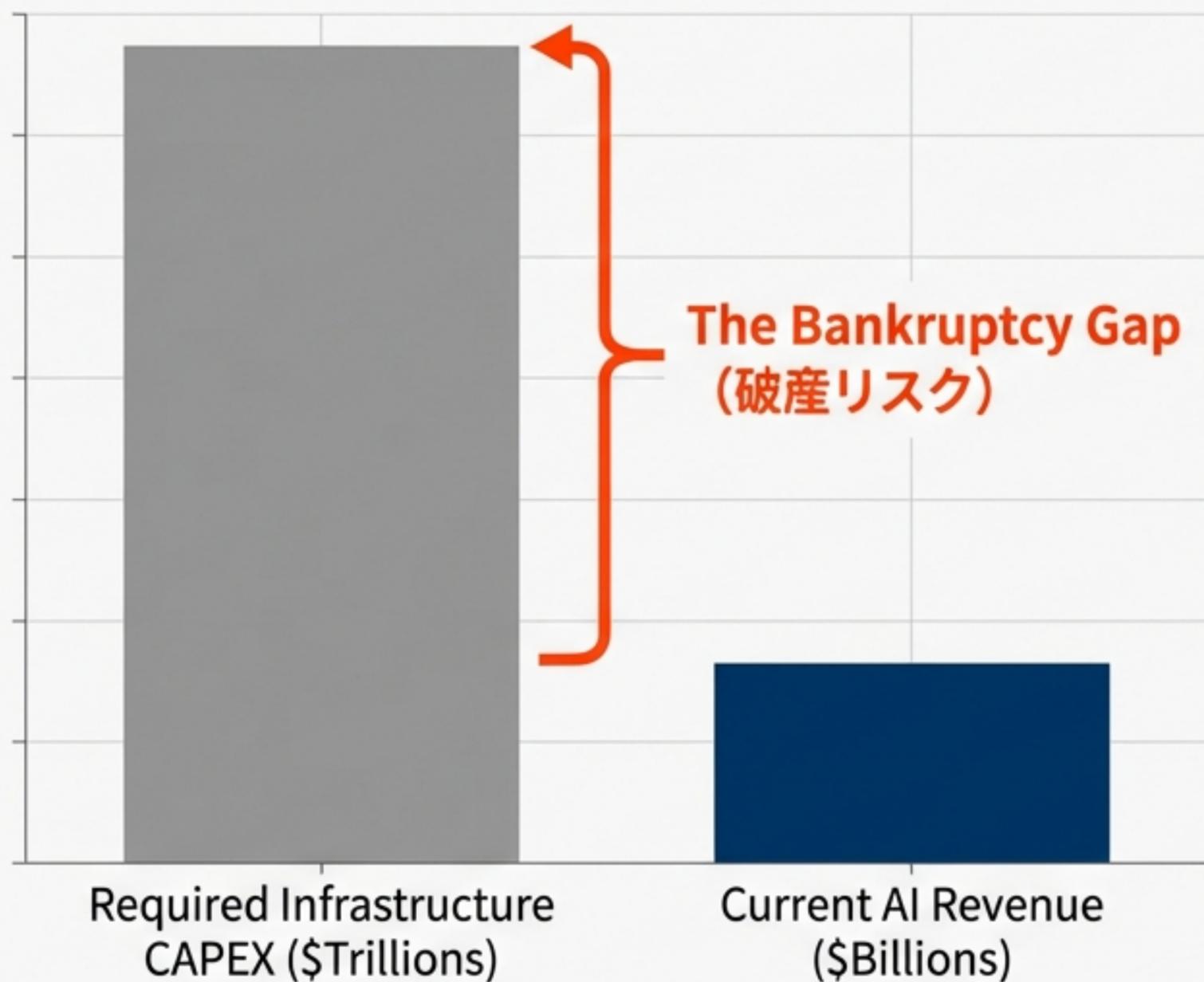
実質的な全体主義  
(Effective Totalitarianism)

The Proposal:  
「AIのためのIAEA（国際  
原子力機関）」および「  
島モデル（Island Mode-  
1）」による厳格な物理的  
監視と国際ガバナンス。

「癌の治療法と引き換えに全体主義を受け入れる必要はない」 — Sam Altman

# スプレッドシートのジレンマ：5兆ドルの賭けと破産リスク

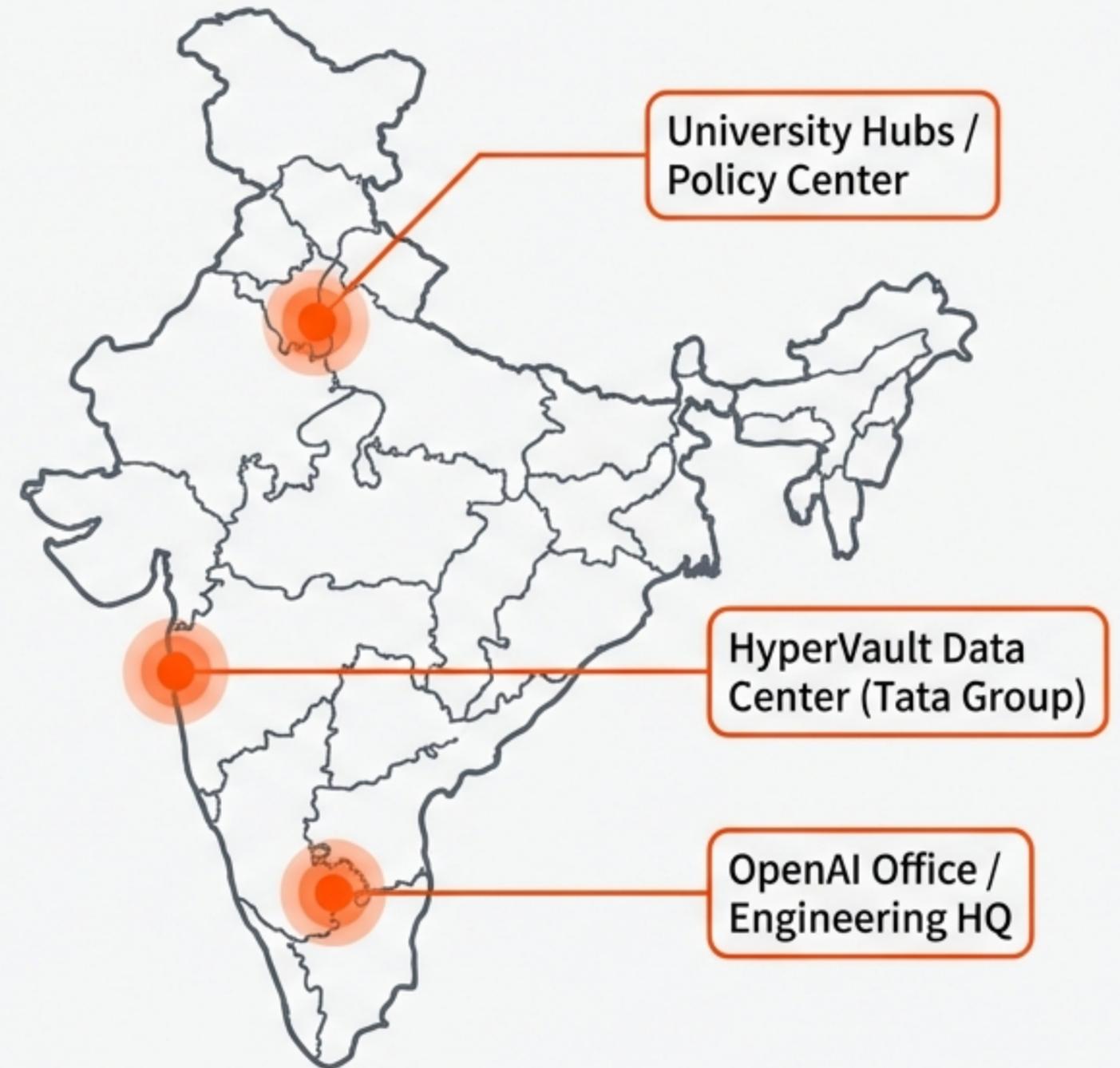
## The Spreadsheet Dilemma



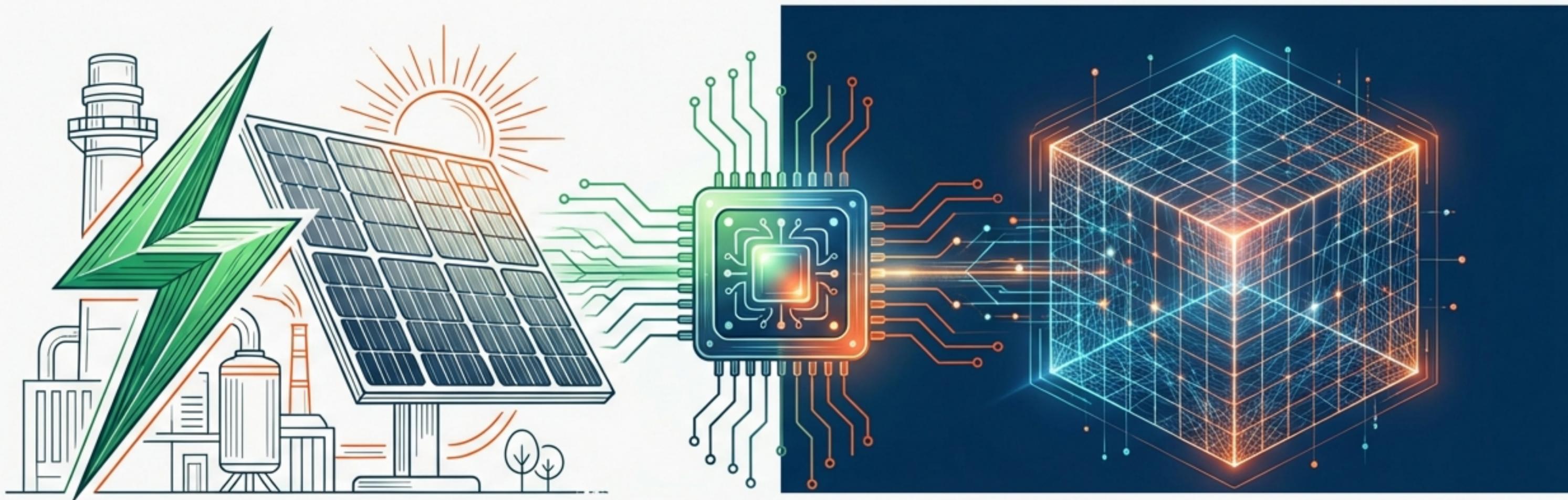
- The Gap: 投資は固定（数兆ドルのチップ契約）だが、収益は仮説。成長が鈍化すれば、回収不能な負債が残る。
- The Warning: Anthropic CEOダリオ・アモデイは、収益成長が予測をわずかでも下回れば「地球上のいかなる力も防げない破産」が訪れると警告。
- The Skeptics: ヤン・ルカン（Meta）らは、LLMが物理世界を理解できないアーキテクチャ上の限界を指摘。

# 「OpenAI for India」：グローバルサウスの実験場

- Market Scale: インドは世界第2位の市場。ChatGPT週間ユーザー1億人超。
- The Pivot: 単なるアウトソーシング先ではなく、Codex（コーディングAI）の最速成長市場として「AIネイティブ」な労働力を供給。
- Strategic Deal: タタ・グループとの提携による「HyperVault」へのインフラ構築と、大学機関への50万ライセンス供与。



# 知能のコストを劇的に下げる：インド財閥の2,500億ドル投資



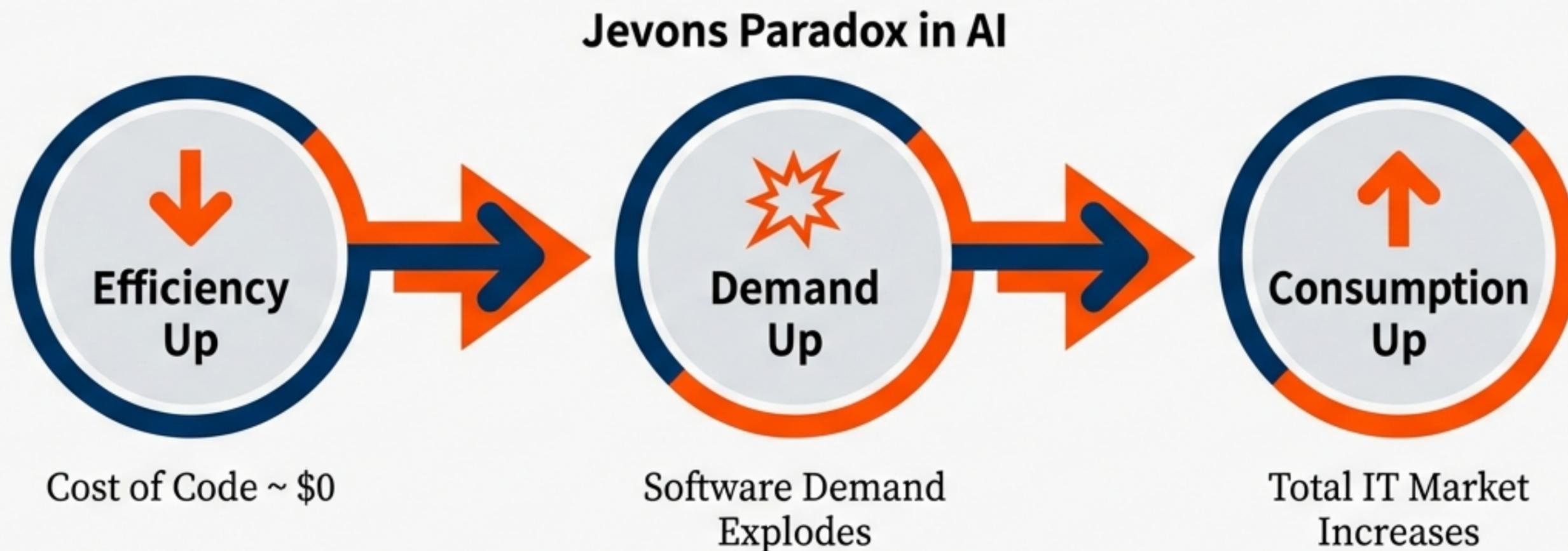
ADANI GREEN ENERGY (\$100B).

RELIANCE JIO / AMBANI (\$150B).

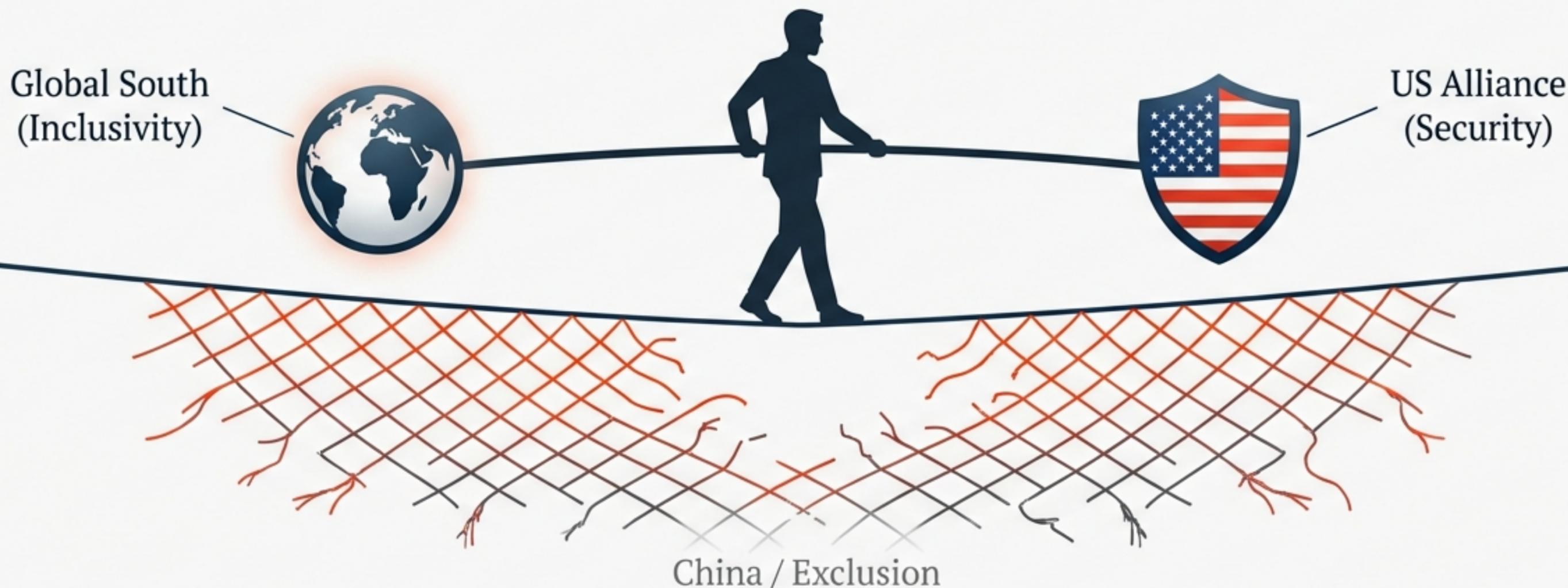
- Reliance (Ambani): 「かつてデータ通信料を破壊したように、知能 (Intelligence) の価格を破壊する」。ソブリンAIモデルの構築へ。
- Adani Group: 1,000億ドルを投じ、100%再生可能エネルギーで稼働する巨大データセンター網を構築。
- Goal: AIの「消費者」から、クリーンエネルギーを背景とした「輸出国」への転換。

# ジェボンスのパラドックス：IT産業は「消滅」せず「爆発」する

- **The Concept:** 資源（コード）の効率化は、消費の減少ではなく、需要の爆発的増加を招く。
- **The Future Work:** これまでコスト面で見送られていた膨大なレガシー移行や開発案件が一気に始動する。
- **Role Shift:** 「ビルダー（コードを書く人）」から、AIエージェントを統率・検証する「ナビゲーター（監査人）」への職務転換。



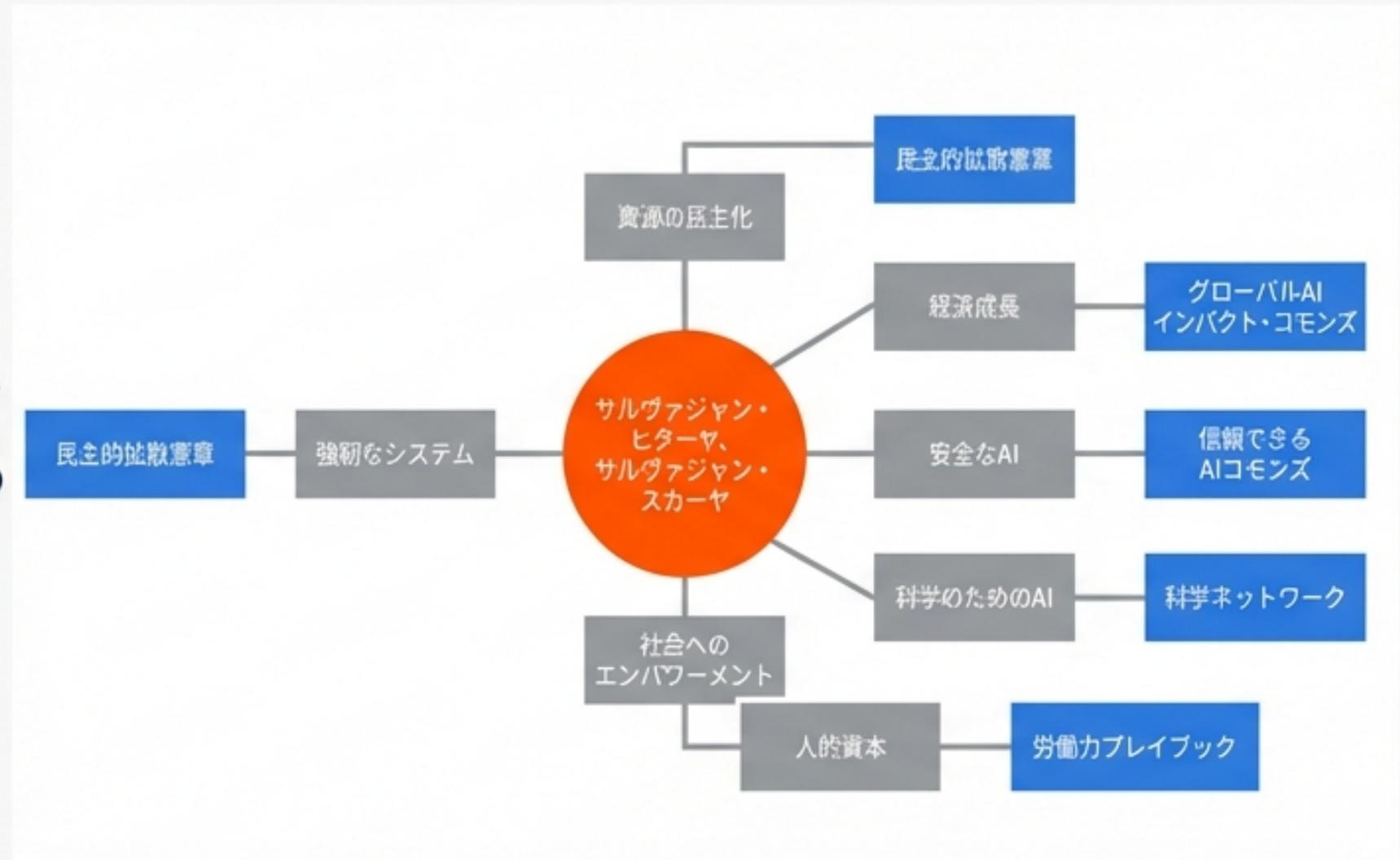
# 地政学的ダブルバインド：ニューデリー宣言とPax Silica



- Left Hand (Soft Power): 国連型の包括的アプローチ。「**ニューデリー宣言**」でグローバルサウスの盟主として振る舞う。
- Right Hand (Hard Power): 米国主導の**排他的**アプローチ。「**Pax Silica**」への署名で、西側のサプライチェーンに食い込む。
- The Strategy: 中国を排除しつつ、**米国の技術と資金**を引き出す高度なヘッジング。

# ニューデリー宣言：AIの民主化と7つのチャクラ

- **Philosophy:** 「Sarvajan Hitaya（すべての人の幸福のために）。特定企業による技術独占を否定。
- **Key Mechanism:** 「グローバルAIインパクト・コモンズ」による成功事例の共有と、オープンソースの推奨。
- **Signatories:** 米中を含む88カ国が署名した外交的勝利。



# パックス・シリカ：「持てる者」による鉄のカーテン

- The Alliance: 米国主導による半導体・重要鉱物・AIの排他的サプライチェーン網。
- The Logic: 「イノベーションは自由主義国家で起こるか、監視国家で起こるか」。中国の排除を明確化。
- India's Choice: 非同盟の伝統を破り、テクノロジー安全保障において米国陣営入りを決断。



# 新たな社会契約：2028年の地平線に向けて

Hardware Battle

Governance Battle

2028

- The Reality: アルゴリズムの進化は、物理的な電力と半導体を支配する者が世界を制することを意味する。
- The Challenge: 我々は「破滅的全体主義」を回避しつつ、ASIの恩恵を分配するガバナンスを、あと数年で構築しなければならない。
- Final Thought: 2028年は予測ではない。すでに経済と政治を動かす「決定事項」である。

# Appendix: Key Terminologies

**Artificial Superintelligence (ASI):** 人類の集合的知能をあらゆる領域で凌駕するAI。

**Effective Totalitarianism:** 強力なAI技術の独占がもたらす、不可避的な統制社会のリスク。

**Pax Silica:** 米国主導の半導体・AIサプライチェーン安全保障同盟。

**First Proof:** OpenAIの推論能力ベンチマーク。未知の数学的証明能力を測定。

**Jevons Paradox:** 技術効率の向上が、資源消費の総量を増大させる経済法則。